

## 消防団長紹介

### 茨木市消防団 団長 中村 伏男

茨木市は大阪府の北部に位置し、大阪市と京都市の中間にあります。市内の北部は山間部が占めており、南部には平野が広がり、人口28万人です。公共機関はJR、阪急、モノレールの3線が通り、高速道路にあっては名神高速道路、新名神高速道路、近畿自動車道が通り、交通の便利さと豊かな自然に恵まれています。

また市内には、大学や高校が集まる文化都市であり学術研究施設が充実しています。歴史文化においては、世界的に貴重なキリシタン遺産をはじめ、古墳、参勤交代の大名らが利用した郡山宿本陣など日本の歴史を伝える重要な遺物が残っており、日本人初のノーベル文学賞作家川端康成が暮らしたまちとしても知られています。

茨木市消防団は、昭和23年3月消防組織法が施行され、以来自治体消防機関の1つとして常備消防とともに、茨木市の防災に尽力してきました。「自らの地域は自らで守る」という郷土愛護の精神に支えられ、28万市民の安全・安心のため、一致団結して水火災、警戒、訓練等の活動を献身的に行っています。現在、1本部12分団、団長以下473人（令和6年4月1日現在）の体制となっております。

私は、平成10年に入団し、班長、部長、副分団長を務め、平成20年に分団長、そして副団長を4年歴任し、令和6年4月から団長に任命されました。

消防団活動で記憶に残っている出来事は、初めて消防車による緊急走行で機関員として運転したことです。仕事柄トラックに乗務していたのですが、サイレンを鳴らして走行し、国道の左側車線が渋滞していたため、反対車線を走行することとなり手に汗をかきながら運転したことが思い出深いです。

現在、運送会社の経営者となり、19名の社員を守る為、日夜頑張っています。

趣味は、仕事と同じで車を運転することが好きでよくドライブをしています。

現在では四国八十八か所の巡礼に回っています。温泉回りも好きで、ドライブの帰りなどいろいろな施設に立ち寄って楽しんでいます。

全国的に消防団員が減少しています。前年から引き続き団員の確保を努力目標として活動したいと思います。

また、近年では災害が国内外を問わず増加し多様化しています。消防団は、自らの地域は自ら守るのという郷土愛の精神のもと、地元市民からの負託に応えられるよう訓練に団員共々望みたいと思っています。